



●本書では、本機の、各ケーブルの接続、設置、設定の一部について記載されています。  
●本書をお読みいただく前に、「取扱説明書 基本編」を必ずお読みください。

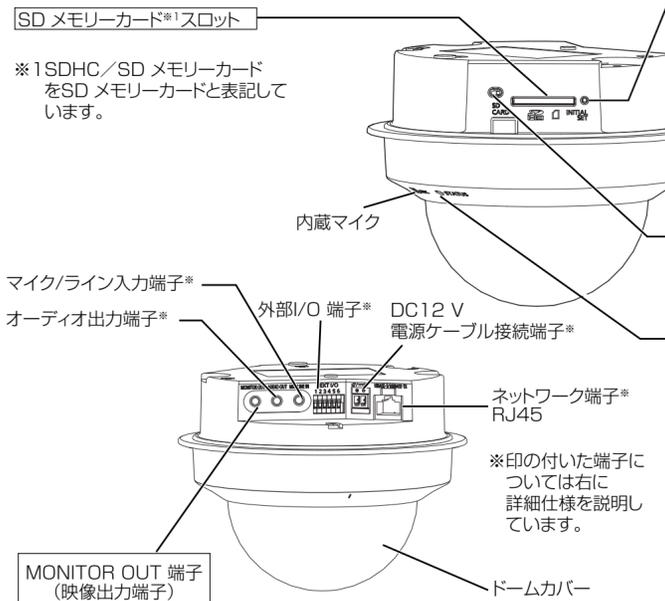
## パナソニックi-PRO センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2019



## 各部の名前



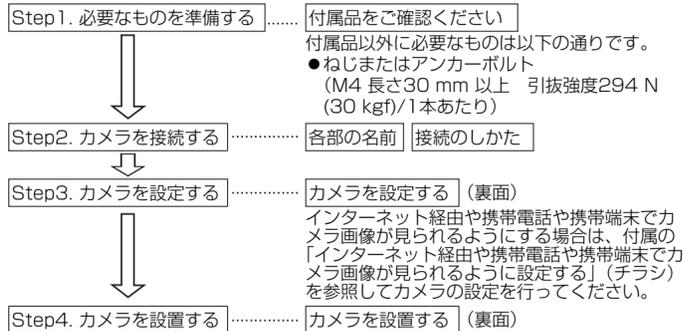
サービス時に必要に応じてアナログモニターを接続して映像を確認します。

### メモ

- アナログモニターは、サービス時に映像を確認することを目的にしたものです。録画および監視を目的にしたものではありません。
- 使用するアナログモニターによっては、画面上に表示される文字(カメラIDなど)が欠けて見える場合があります。

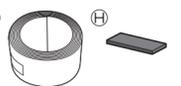
## はじめに

本書では本機の接続から設置までを説明しています。カメラの操作や詳しい機能および設定のしかたについては、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。



## 付属品をご確認ください

- 取扱説明書 基本編 ..... 1冊 CD-ROM \*1 ..... 1枚  
取扱説明書 設置編 (本書) ..... 1冊 コードラベル \*2 ..... 1枚  
保証書 ..... 1式 SDメモリーカードラベル \*3 ..... 1枚
- ※1 CD-ROMには各種取扱説明書および各種ツールソフトが納められています。  
※2 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。ネットワーク管理者が保管してください。  
※3 本機の外観などに貼付けてください。  
以下の付属品は取付工事に使用します。
- Ⓐ アタッチメント金具 ..... 1個
  - Ⓑ ベースカバー ..... 1個
  - Ⓒ インナーカバー ..... 1個
  - Ⓓ エンクロージャー ..... 1個
  - Ⓔ ねじA \*4 ..... 3本 (うち1本は予備ねじ) (呼び径4×20 mm : タッピングねじ)
  - Ⓕ ねじB \*5 ..... 12本 (うち3本は予備ねじ) (M3×8 mm : Mねじ)
  - Ⓖ 防水テープ ..... 1個
  - Ⓗ 防水スポンジ ..... 1個
  - Ⓘ エンクロージャー ..... 1個
  - Ⓚ 落下防止ワイヤー (長さ約22 cm) ..... 1本
  - Ⓛ ワッシャーA (大) \*6 ..... 1個
  - Ⓜ ワッシャーB (小) \*7 ..... 1個
  - Ⓝ 電源用端子台 \*8 ..... 1個
- ※4 本体とアタッチメント金具の取り付け用  
※5 安全ワイヤーとアタッチメント金具の取り付け用 (1本) と インナーカバーとアタッチメント金具の取り付け用 (8本)  
※6 天井側での安全ワイヤー固定用  
※7 カメラ側での安全ワイヤー固定用  
※8 電源用端子台はカメラ本体に付いた状態で付属されています。



## 接続のしかた

接続する前に、必要な周辺機器やケーブルを準備して、システム (機器) の電源は切ってください。

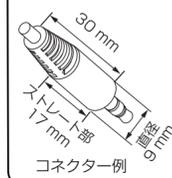
### オーディオ出力端子とアンプ内蔵の外部スピーカーを接続する

- φ3.5 mmのステレオミニプラグ (出力はモノラル) を接続します。\*
- 出力インピーダンス : 約600 Ω 不平衡 ※アンプ内蔵の外部スピーカー
  - 推奨ケーブル長 : 10 m未満
  - 出力レベル : -20 dBV
- ※アンプ内蔵の外部スピーカーを使用してください。

### 重要

- 音声ケーブルの抜き差しや、カメラの電源をONにするときは、オーディオ出力機器の電源を切った状態で行ってください。スピーカーから大きなノイズが出ることがあります。
- 本機には必ずステレオミニプラグを使用してください。モノラルミニプラグを使用すると音が出なくなる場合があります。モノラルアンプ内蔵スピーカーと接続する場合は、市販のステレオモノラル変換ケーブルなどを使用してください。

コネクター収納部が狭いため、各ケーブルは下図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。



### アラーム入出力ケーブルを接続する

- 外部I/O端子に外部機器ケーブルを接続します。
- ①ケーブルの外皮を8 mm~9 mm切断し、芯線を露出させるよう加工し、より線の場合はよくよじって、外部I/O用端子へ挿入してください。線材仕様 : AWG 20~AWG 26単線もしくはより線。
  - ②ボールペンの先などで接続したい外部I/O端子のボタンを押し、ケーブルを穴の奥まで確実に差し込んでボタンを離します。

### メモ

- 外皮を切断した芯線を外部I/O端子の奥に突き当たるまで差し込み、芯線がはみ出して、隣の端子とショートしていないことを確認してください。
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させて接続してください。
- 外部I/O端子のボタンを先の尖ったもので、強く押さないでください。外部I/O端子のボタンの溝がつぶれて、戻らなくなることがあります。
- 外部I/O端子2と外部I/O端子3は、Off/入力端子/出力端子に切り替えることができます。外部I/O端子2、3の設定 (Off/アラーム入力/アラーム出力またはAUX 出力 (外部出力)) については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

### 定格

- アラーム入力端子1、アラーム入力端子2、アラーム入力端子3  
出力仕様 : 無電圧マイク接点入力 (DC4 V~5 Vプルアップ内蔵)  
Off : オープンまたはDC4 V~5 V  
On : GNDとのメイク接点 (必要ドライブ電流1 mA以上)
  - アラーム出力端子、AUX 出力端子  
出力仕様 : オープンコレクタ出力 (外部からの最大印加電圧DC20 V)  
Open : 内部プルアップによるDC4 V~5 V  
Close : 出力電圧DC1 V以下 (最大ドライブ電流50 mA)
- ※お買い上げ時は、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。外部I/O端子の設定については付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

外部I/O端子部	ピン	機能
1	1	アラーム入力端子1
2	2	アラーム入力端子2 / アラーム出力端子
3	3	アラーム入力端子3 / AUX 出力端子
4	4	GND
5	5	GND
6	6	外部機器用電源

### 重要

- 外部機器は定格を超えないように設置してください。
- 外部I/O端子を出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

### マイク/ライン入力端子とマイクを接続する

- φ3.5 mmのモノラルミニプラグを接続する。
- 入力インピーダンス : 約2 kΩ 不平衡
  - 推奨ケーブル長 : 1 m未満 (マイク入力の場合)、10 m未満 (ライン入力の場合)
  - 推奨マイク : プラグインパワー方式 (別売り) ●供給電圧 : 2.5 V±0.5 V
  - 推奨マイク入力感度 : -48 dB±3 dB (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)
  - ライン入力時入力レベル : 約-10 dBV

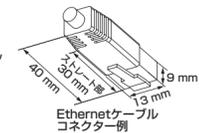
### メモ

- 外部マイクを本機に接続すると、内蔵マイクでの音声入力はできなくなります。
- コードの長さや、マイクの特性によって音質が落ちることがあります。

### Ethernetケーブル (カテゴリ5e以上) を接続する

### メモ

- Ethernetケーブルは右図のコネクターサイズ以下のものを使用してください。
- PCとカメラを直接接続する場合はEthernetケーブル (カテゴリ5e、クロス) を使用してください。それ以外の場合はEthernetケーブル (カテゴリ5e、ストレート) を使用してください。



### 重要

- Ethernetケーブルは4対 (8ピンすべて) を使用してください。
- Ethernetケーブルの最大長は100 mまでです。
- PoE給電装置をご使用の場合は、必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、PoE給電装置が優先されます。  
※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた場合、ネットワーク接続ができない場合があります。このときは、給電装置の給電の設定を無効にしてください。詳しくは給電機能付きハブもしくはルーターの取扱説明書をお読みください。
- ※DC12 Vと給電機能付きハブもしくはルーターの給電機能を同時に動作させた状態からDC12 Vを切断した場合、給電装置の種類によっては、給電が一度切断され、本機が再起動する場合があります。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。

### 電源ケーブルを接続する

- ①電源用端子台 (付属品) にACアダプター (WV-PS16 (別売り) あるいは市販品) の出力ケーブルを接続します。
- ①電源用端子台のねじをゆるめ、ケーブルの外皮を3 mm~7 mmむき、芯線を露出させるよう加工し、より線の場合はよくよじって、電源用端子台へ挿入してください。(WV-PS16 (別売り) をお使いのときは、ケーブル先半田付け部分を除去してください)
- ②電源用端子台のねじを締めます。(推奨締付トルク : 0.34 N・m {3.5 kgf・cm})

### メモ

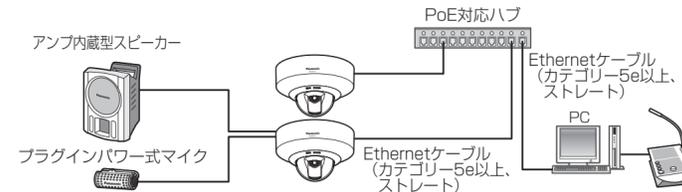
- 外皮を切断した芯線を電源用端子台の奥に突き当たるまで差し込み、線材の芯線がはみ出して、隣の端子とショートしていないことを確認してください。
- 外部電源を接続する場合はAWG 16~AWG 24単線もしくはより線をご使用ください。

### 重要

- DC12 V電源はAC100 Vに対して絶縁されたものを使用してください。
- 電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
- 電源用端子台は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルに無理な力が加わらないように設置してください。
- 本機の電源および消費電力の定格 (本体底面銘板に表記) を満たすACアダプターを使用してください。

### PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例

設置工事を始める前に、システム全体の構成を確認してください。下図は、PoE対応ハブを使用してネットワークに接続する場合の接続例です。



### 重要

- ハブ、ルーターは10BASE-T/100BASE-TX 対応のスウィッチングハブまたはルーターを使用してください。
- PoE対応ハブを使用しない場合は、各ネットワークカメラにDC12 V電源が必要です。
- DC12 V電源を使用するときは、PoE対応のハブ、ルーターからの電源供給は不要となります。

※2 常時消灯したり、本機がネットワーク通信するときに緑点灯するように設定することもできます。詳しくは付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

## カメラを設定する

### カメラ画像をPCで見られるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。ネットワークの設定を行うための情報は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

#### [1] 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする

- 使用許諾契約が表示されますので、使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約の条項に同意します。」を選択し、「OK」をクリックします。
- CDランチャーメニューが表示されます。CDランチャーメニューが表示されないときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。



#### メモ

- CDランチャーの詳細については、付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「CD-ROMを使用する」を参照してください。

#### [2] IP簡単設定ソフトウェアの【起動】をクリックする。

[Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面が表示され、カメラが見つかるカメラのMACアドレスやIP アドレスなどの情報を表示します。

#### [3] 設定するカメラをクリック (①) して、[カメラ画面を開く] をクリック (②) する。

#### メモ

[Panasonic IP 簡単設定ソフトウェア] 画面にカメラが表示された場合は、設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカメラをクリックしてください。



#### [4] 管理者登録画面が表示されたら、管理者のユーザー名、パスワード、パスワード確認を入力し、【登録】 ボタンをクリックする。認証画面が表示されたらユーザー名、パスワードを入力する。

カメラのライブ画面が表示されます。

#### メモ

- 動画を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールする必要があります。「プラグインソフトウェア」ボタンをクリックしてインストールしてください。
- カメラを使用する前に、「設定」の [基本] 画面で [日付時刻] の設定を行ってください。
- IP 簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります (IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合)。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。
- 画像が表示されない場合は、ウェブブラウザを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照ください。<https://sol.panasonic.biz/security/netwcam/support/info.html>

## カメラを設置する

### 設置の前に

カメラを設置する前に、以下の内容について確認してください。

#### メモ

- 本機は水平な天井部分に取り付けてください。15°以上の傾斜がある部分には設置できません。

#### ■サイディングや丈夫な木部に取り付けの場合

サイディングだけで (裏面が空洞になっている場所) 重量を支持するとサイディングが損傷するおそれがあります。必ず、サイディングの内側にある木部などの構造体で支持できる場所に設置してください。

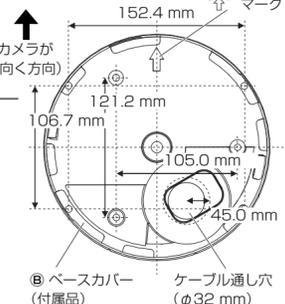
#### ■コンクリートの天井に取り付ける場合

市販のコンクリート用プラグボルト (ねじの呼び径4.0 mm、プラスドライバーで締められるタイプ) をお使いください。それ以外のタイプのねじでは取り付けできません。取り付け前に、プラグボルトの説明書をお読みいただき、ドリル径と穴の深さを確認してから、プラグボルトを取り付けてください。下穴を開けたあとは、削り粉を取り除いてください。

### 設置する

ケーブル類 (電源ケーブルのコード、イーサネットケーブルなど) の取り回しかたには、天井にケーブル用の穴をあけて配線する方法<天井配線>と、天井に穴をあけずに配線する方法<側面配線>があります。どちらかの方法で配線してください。

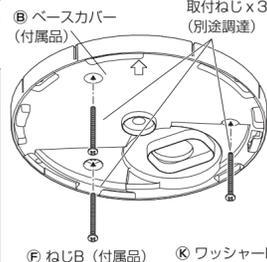
#### [1] 天井に⑧ ベースカバー (付属品) をあて、取り付け用のねじ穴 (7か所) をあける。天井配線の場合はケーブル類を通すケーブル通し穴 (φ32 mm) もあける。



#### メモ

- 側面配線の場合、側面からの配線処理が必要です。ベースカバーの中心より250 mm以内に壁などの障害物がないようにしてください。
- ケーブル通し穴中心から45 mm以内に段差・溝などが無いことを確認してください。
- ベースカバー (付属品) の「 $\nabla$ 」マークが設置完了後のPanasonic ロゴ方向 (カメラが向く方向) となります。

#### [2] ベースカバーを取付ねじ (別途調達) で天井に取り付ける。

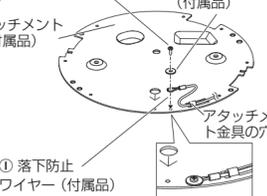


#### 重要

- 取付ねじはM4 で長さ30 mm以上、最低引抜強度294 N (30 kgf)/1本あたりのねじを選択してください。
- 取付ねじは天井の材質によって種類を選択してください。
- 天井配線の場合、天井とベースカバーの間 (ケーブル通し穴周辺) は防水処理をしてください。

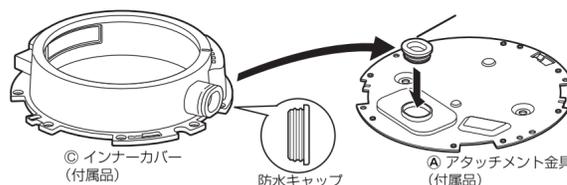
#### [3] ④ アタッチメント金具 (付属品) に⑥ ねじB (付属品) と⑧ ワッシャーB (付属品) を使って、① 落下防止ワイヤー (付属品) を固定する。

落下防止ワイヤーをアタッチメント金具の穴へ通し、落下防止ワイヤーをねじBとワッシャーBを使って固定します。(推奨締付トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm})



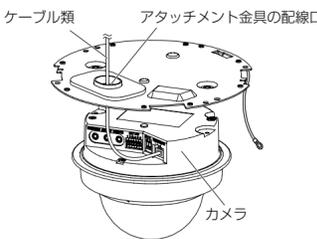
#### <天井配線> <側面配線>

#### [4] ⑤ インナーカバー (付属品) から防水キャップ (インナーカバーに添付) を外し、アタッチメント金具に取り付ける。



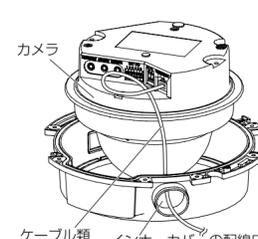
#### <天井配線>

#### [5] 「接続のしかた」を参照し、必要なケーブル類をアタッチメント金具に通してカメラに接続する。



#### <側面配線>

#### [5] 「接続のしかた」を参照し、必要なケーブル類をインナーカバーに通してカメラに接続する。

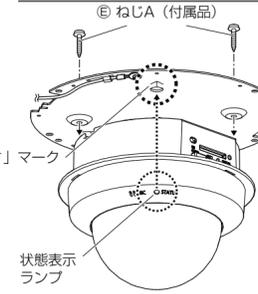


#### [6] カメラ底面にアタッチメント金具を⑥ ねじA (付属品) で取り付ける。

- カメラの状態表示ランプの向きをアタッチメント金具の「↑」マークの向きに合わせます。
- アタッチメント金具の凹部分2か所をカメラ底面のねじ固定部に合わせ、ねじA (2本) で固定します。(推奨締付トルク 1.3 N・m {13.3 kgf・cm})

#### メモ

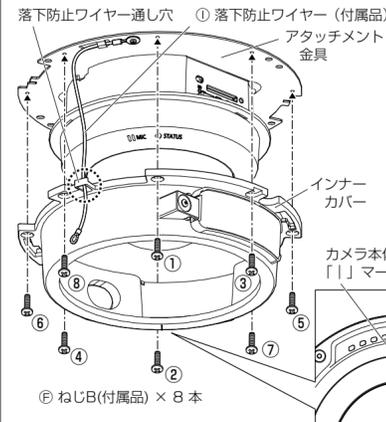
- SDメモリーカードを使用する場合は「SDメモリーカードを交換する」を参照して取り付けしてください。



## 設置する (つづき①)

#### [7] ④ アタッチメント金具 (付属品) に⑤ インナーカバー (付属品) を⑥ ねじB (付属品) で取り付けます。

インナーカバーの落下防止ワイヤー通し穴に① 落下防止ワイヤー (付属品) を通し、インナーカバーの「↑」マークと、カメラ本体の「↑」をマーク合わせ、ねじB (8本) で固定します。(推奨締付トルク0.8 N・m {8.2 kgf・cm})



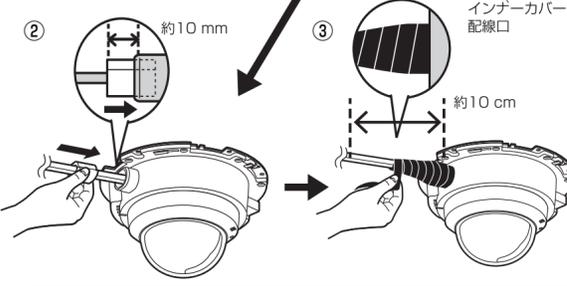
#### 重要

- インナーカバーの防水ゴムがインナーカバーの溝から外れていないことを確認してください。
- ケーブル類をインナーカバーにはさみこまないように注意してください。
- ねじBは、左図の①~⑧のように対角の順番で固定してください。

#### <天井配線> <側面配線>

#### [8] インナーカバー配線口を防水処理する

- ① ② 防水スポンジ (付属品) をインナーカバー配線口に近いところでケーブル類に巻きまします。
- ② インナーカバー配線口から防水スポンジが約10mm出るところまで押し込みます。
- ③ ③ 防水テープ (付属品) でインナーカバーの出口の根元から約10cmの長さまでケーブル類を巻きまします。



## 設置する (つづき②)

#### [11] ⑨ エンクロージャー (付属品) に① 落下防止ワイヤー (付属品) を通す。

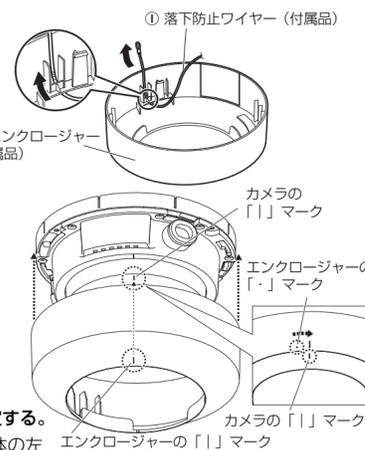
カメラの「↑」マークとエンクロージャーの「↑」マークを合わせ、エンクロージャーをカメラに取り付けます。カメラの「↑」マークとエンクロージャーの「↑」マークが合うまで、エンクロージャーを時計回りに回し固定します。

#### [12] エンクロージャーをカメラに取り付ける。

落下防止ワイヤーをたるませて、本体の左側に取付ねじ (別途調達) と⑩ ワッシャーA (付属品) で天井に取り付ける。

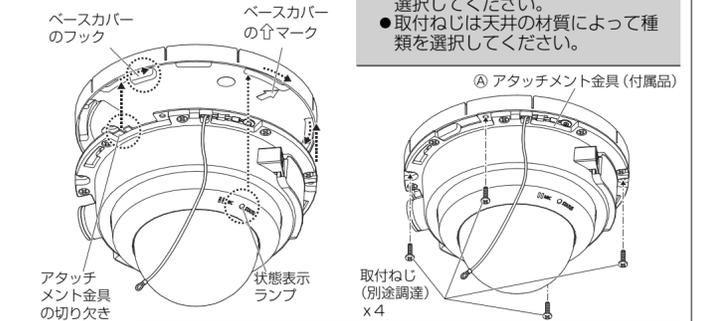
#### 重要

- 取付ねじはM4 で長さ30 mm以上、最低引抜強度294 N (30 kgf)/1本あたりのねじを選択してください。
- 取付ねじは天井の材質によって種類を選択してください。



#### [9] カメラを取り付けたアタッチメント金具を天井に固定する。

カメラを取り付けたアタッチメント金具の切り欠き (2か所) を⑨ ベースカバー (付属品) のフック (2か所) に合わせて押し当て、カメラの状態表示ランプがベースカバーの $\nabla$ マークに合うまで時計回りに回転させ、仮固定します。



#### <天井配線> <側面配線>

#### [10] ケーブル類をカメラの側面より引き出す場合は、⑩ エンクロージャー (付属品) の側面を加工する。

- ケーブルを露出配線するときは、エンクロージャーの側面ケーブル通し穴を加工し、側面からケーブルが出るようにしてください。



#### 重要

- ケガ防止およびケーブル保護のため、側面ケーブル通し穴はエッジにならないようにヤスリなどで仕上げてください。

\*PF管などの防水処理の詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト (<https://sol.panasonic.biz/security/netwcam/support/info.html>) を参照してください。

## SDメモリーカードを交換する

#### [1] ⑨ エンクロージャー (付属品) を反時計回りに回転させ、カメラより取り外す。

落下防止ワイヤーが天井に固定されていますので、エンクロージャーはワイヤーにぶら下がった状態になります。

#### [2] SDメモリーカードを取り出す。

- ① ゴム製のSDスロットカバーを開きます。
- ② SD CARDボタンを押して、SD CARDボタンのランプ部分が消灯になったことを確認してください。
- ③ SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットから取り出します。

#### [3] 交換用のSDメモリーカードを取り付ける。

- ① 交換用のSDメモリーカードをSDメモリーカードスロットにカチッと音がするまで入れて取り付けます。
  - SDメモリーカードは、ラベル面を下側に挿入してください。
- ② SDメモリーカードを挿入すると自動的に認識され、SD CARDボタンのランプ部分が緑点灯します。
- ③ SDスロットカバーを元の状態に戻します。

#### [4] エンクロージャーをカメラに取り付ける。

「設置する」の [12] を参照してエンクロージャーをカメラに取り付けます。

